

猪平 直人 INOHIRA ,Naoto

キーワード

平安朝歌物語 / 大和物語

分野等

日本古典文学

email

inohira[at]nagaoka-ct.ac.jp

※ [at] を @ に変えてください



職名

教授

学位

修士(文学)

研究分野

平安時代の歌物語である『大和物語』の創作性について研究しています。物語を作る上で基にした原話からの改変の様相を探ることで、物語作者の創作意図を掴み、ひいては作品そのものの性格を明らかにできると考えています。

平安朝歌物語の創作性をめぐる研究

『大和物語』の人物形象に関する研究

物語の話型と、類話における創作意図の変化に関する研究

学生時代の演習で、歌物語と類話との比較考察を発表しました。それが先生や諸先輩方に好評だったことと、考察の作業自体が自分でも興味深く感じられたことがきっかけで、歌物語の一つ『大和物語』を研究テーマとするに至りました。共通する枠組みを持つ話同士を比較しても、ディテールの違いで、登場人物や話自体の性格まで変質してしまうことに興味を引かれます。「細部にこそ神は宿る」は正に名言だと思います。

現代でも「話型」という共通の枠組みを意識的または無意識的に利用しながら、新たな物語が次々に紡がれています。これだけ新しい物語が絶えず生み出されていくのは、様々な人生を描く「物語」というものが、人間にとって、ある意味で必要不可欠なものであるからではないでしょうか。現実だけでは経験できない「生きること」の手ごたえを、実際にはさほど傷つかない形で味わえるのが、「物語」というものの徳だといえると思います。

興味のあること・技術 PR

平安朝歌物語作品の創作性に興味があります。また複数の物語等に共通してみられる「話型」の問題にも関心があります。ストーリー性をもつ話は、類似する「型」をふまえて再生産されることが多く、類似と相違を考察することで、各話の性格が見えてきます。

日本古典文学の鑑賞・読解

文章作成に関する指導